



令和 4 年度 決算・事業報告 総務課

(単位：千円)

コロナ禍から立ち上がる

丸 3 年半に及ぶコロナ禍で、感染予防策の徹底が習慣化し、動画・オンラインでの研修・会議が定着したことで、研修の 100% 参加、配信技術の向上など、予想外の成果もありました。オンライン研修や会議は、自宅から参加したり、移動時間がかからなかったりといったメリットもあり、今後も活用していきます。

この間、感染症対応レスキューヘルパー、自宅療養者支援や生活困窮者自立支援等に取り組み、急速に変化するニーズに対応しながら市民の皆様を支えてきました。一方、通所介護事業や訪問介護事業では、ご利用者が戻ってこない状況が続いています。

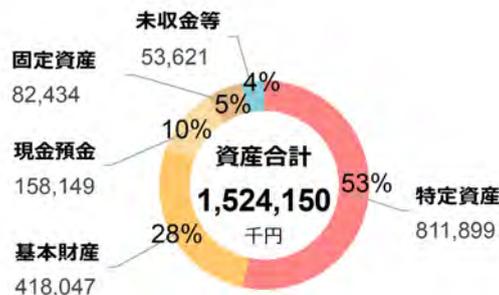
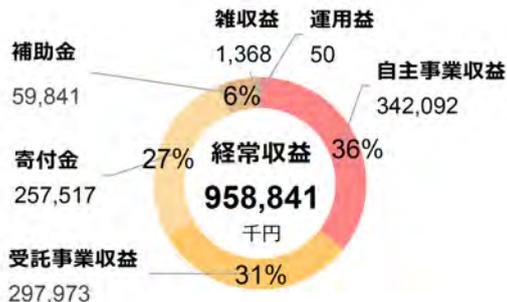
一年前倒して、多くの職員の力を結集し、第四期中長期事業計画を策定しました。コロナ後の課題は数多くありますが、職員一丸となって解決に取り組んでいきます。

本部事務所建て替え始動

内部で検討を重ねてきた本部事務所の建て替えは、新社屋建設検討委員会を発足し、いよいよ本格的に始動しました。単に事務所としての機能不足を解消するためだけではなく、地域共生社会の拠点を目指します。

ご寄付をいただきました

令和 4 年度の財政状況は、多くの事業でマイナスとなりましたが、多額のご寄付をいただきました。これからもご利用者の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう事業遂行していきます。(新谷)



新評議員紹介

岩岡由美子評議員が 6 月の評議員会をもって退任されました。平成 25 年 4 月から 10 年間、福祉公社の評議員を務めてくださいました。長い間、ありがとうございました。今後は、権利擁護事業等運営監視委員会の委員として引き続きお世話になります。

後任には、同評議員会で日名子英男 (ひなごひでお) 氏が選任されました。日名子英男評議員は、民生児童委員協議会第 2 地区副会長です。日名子評議員、どうぞよろしくお願いたします。



苦情対応第三者委員会開催

6 月 1 日、今年度第 1 回の委員会を開催しました。各事業に寄せられた苦情の内容と対応について、第三者委員の皆様にご報告しご意見をいただきました。今回の苦情は 6 件で、対応時の注意点や、職員が疲弊しないよう注意することなどの助言をいただきました。解決した苦情についても、対応を共有し再度ていねいに検討することで、今後のご利用者支援に活かしていきます。

【苦情対応第三者委員】

- ・ 三上義樹氏 / (社) 至誠学舎東京理事長
- ・ 濱崎宏氏 / 弁護士
- ・ 栃折暢子氏 / 元民生委員・主任児童委員

委員長を務めてくださった三上義樹氏は今期で委員を退任されます。長い間、ご支援いただきありがとうございました。

地域包括ケア人材育成センターの令和5年度介護職員初任者研修が5月末に開講しました。合計132時間に及ぶこの研修は、当センターで最も長く、準備期間も含めると通年稼働の一大行事です。

本研修では、地域で活躍する従事者などが講師を担い、地域の支え合いに参加したいと希望する人々が受講します。特に今年度は、既に事業所で従事しながら受講する方が多数いらっしゃいます。福祉サービス提供の場だけでなく、ここにも「まちぐるみの支え合い(=地域包括ケア)」が感じられるのです。

8月末まで続く本研修...残暑には受講生全員の晴れやかな笑顔が花開くよう、当センター職員も日々尽力します。(桑谷)



▲ 5日目の講義「老化にともなう心とからだの変化と日常」にて、活発なディスカッション後の受講生発表風景。多種多様な意見に、講師も皆さんも傾きながら学びを深めました。

情報セキュリティ研修で知識をアップデート

研修委員会

5月24日、社内研修の「情報セキュリティ研修」を実施しました。研修テーマは常務理事による「セキュリティ委員会の役割と福祉公社の体制について」とITコンサルタント吉見氏による「PCとiPhoneの利用方法と個人情報漏洩防止留意点について」です。研修内容は今までの研修の振り返りとなる内容で、個人情報流失の原因の8割が人的ミスという話から始まり、情報流失を防止するために留意すべき点や福祉公社のルールについての講義でした。職員の関心は高く、「忘れていたこともあるため継続して研修を受けたい」等の声も多く、充実した研修となりました。(中野)

ホームヘルプセンター武蔵野

初めての身体介護・排泄介助編



昨年度より動き出している登録ヘルパー向けの基本の身体研修。今回は排泄介助について行いました。常勤ヘルパー職員はどんな風にしたら伝わりやすいか、介助時の不安を取り除くことができるか、などを考えながら準備し研修を行いました。参加者からはとても好評で「実物に近い状態で体験できてよかった」と話していました。今後も様々な身体介護研修を企画しています。参加した登録ヘルパーが不安なく実際のケアに入れる事を目指し、介護の担い手を支えていきたいと思っています。(池田)

地域福祉権利擁護事業の生活支援員を募集します！

権利擁護センター

生活支援員のお仕事は、病気や障害により判断能力が低下した方の自己決定をサポートすることです。具体的には月に1~2回訪問し、生活費のお届けや共に書類整理をすることで、その方の生活の自立を支援します。子育て中の方も、リタイアされた方も、地域福祉に関心のある方は、是非説明会にご参加ください！(小山)

【説明会日程等】 ※要事前申込

- 日時 (いずれかにご参加ください)
- ① 8月17日(木) 13時30分~15時
 - ② 8月23日(水) 10時30分~12時

場所 福祉公社1階会議室
 申込 権利擁護センター
 TEL 0422-27-5070
 担当: 小山(こやま)

専門員(権利擁護センター職員)と連携して活動します！

※説明会終了後、選考・講習あり。
 詳細お問い合わせください。



赤ちゃんからお年寄りまで楽しみました♪

北町高齢者センター

6月15日むさしのママ'sミュージックの皆さんによる「雨の日コンサート」が開催されました。ソプラノ歌手による「こんにちは赤ちゃん」「川の流れるように」の歌唱や、トランペット、フルートによる「浜辺の歌」「ニューシネマパラダイス」などが披露されました。みずきっこの子どもたちも、音楽を聴いてご機嫌よく過ごしていました。

普段のプログラムでは聴く事のできない楽器の音色や、ソプラノ歌手のパワフルな歌声を楽しむ事ができ、特別な時間となりました。(村上)

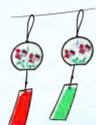


排泄ケアの講演会

住宅改修・福祉用具相談支援センター

「おむつなどの疑問を解決！頼れる専門員の話」のご報告

5月16日(火)に武蔵野プレイス4階フォーラムで、排泄ケアの講演会と紙おむつなどの展示を行いました。講師は当センターの排泄ケア専門員(コンチネンス)の牧野でした。講義は排泄のしくみと排泄障害の知識、基本のおむつの種類と組み合わせから始まりました。基本的に紙おむつは尿を吸収する製品のため、便には軟便対応のパッドがあることや、立位で交換できる「ふんどし型」テープ式おむつ、肌にやさしいケア製品と寝たままでもおむつを交換しやすい衣服、最後に「テープ式紙おむつのつけ方」が動画で紹介されました。参加者は講義で紹介された商品を実際にご覧いただき、ご相談を多く受け、希望者には後日の対応のご案内をいたしました。住宅改修・福祉用具相談支援センターには排泄専門相談(不定期に週1回)がございます。お気軽にご相談ください。(原)



納涼囲碁将棋大会

管理・社会活動センター

3年ぶりに「納涼囲碁将棋大会」を開催します。初心者から上級者まで参加できる大会で、社交と親睦を深める場としても最適です。成績優秀者には各種賞品をご用意しております。ぜひ、戦略的な思考力を駆使して、友人たちとの熱い対局に挑戦してみませんか？腕に覚えがある方、皆様のご参加をお待ちしております。(小林)

将棋大会 令和5年7月27日(木)

囲碁大会 令和5年7月31日(月)

いずれも 9時45分～15時30分

場所 高齢者総合センター

参加 市内在住60歳以上の方

問合せ 社会活動センター 事前申込制

TEL 0422-51-1975 参加費無料

社会活動センターホームページ

<https://senta-kouza.com/post-8280/>





青黒い手の恐怖 ～河童に危うく～

(特別編) 福祉公社評議員 江幡 五郎 氏

70年近く前のことです。当時私は境南小4年生でしたが学校にはプールはなく、泳ぐ所もないので友達5人くらいで西武多磨川線の是政駅近くの多摩川に行っていました。親が許すはずもなく電車賃をかすめ取って行ったものです。当時は水泳パンツはお坊ちゃまのもので、我々が子どもはタオルを股に挟みベルトで固定するという珍妙なスタイルでした。浅瀬ではつまらないので橋脚から深みに飛び込んでいましたが、水面に上がろうとすると「誰か」が足をつかむのです。そいつを蹴飛ばして浮上しようとしても次から次へ「誰か」が足をつかみ深みに引きずりこもうとするのです。頭のてっぺんには毛がなく口は尖っており、背中に甲羅を背負っているなど絵でみた河童そのものでした。手は「青黒く細く」幼稚園児くらいでしたがとても力が強く、もがいてももがいても深みに引き込まれていきます。少し水面に顔がでたところで「助けて」と叫んでも、口を開けるたびにがぶがぶ水を飲むだけで段々と気が遠くなりましたが、思いがけず太い棒が差し出されてきたので必死につかまりました。その棒は瀬渡しの船頭さんの助けだったのです。その助けがなければ…と思うとぞっとします。これは本当の話です。皆さんは昭和の時代に河童が悪さをするなど信じられないと思うでしょうが、なんなら試しに是政橋の2番橋脚から飛び込んでみたらいかがですか。本当かどうかすぐにわかります。

次回は→ 権利擁護センター 柳 亜希

権利擁護センターより

講座・相談 / 予約制

● 老じたくの基礎知識

7月24日(月) 10時30分から12時00分
場所: 福祉公社1階会議室

● エンディングノート講座

8月4日(金) 13時30分から15時00分
場所: 福祉公社1階会議室

講座



相談



◆ 法律相談 / 成年後見関連

8月はお休みします

◆ 法律相談

高齢者及び権利擁護に係る法律相談
毎月第4水曜日 / 次回: 7月26日 午後

(問合せ・申込み) 権利擁護センター TEL 0422-27-5070



「お口のケアで健康アップ！」

おいしく楽しく美しく
笑ってお口から全身の健康を維持しましょう！

(協力: 健康づくり支援センター)

令和5年7月27日(木)

14時00分～15時30分 (13時45分受付開始)

場所 高齢者総合センター 3階講義室

定員 20名 (新規の方優先/申込順)

講師 健康づくり人材バンク 歯科衛生士

申込期間 7月1日(土)～ ※お電話にてお申込みください。

(問合せ・申込み)

高齢者総合センター在宅介護・地域包括支援センター

TEL 0422-51-1974

福祉公社 各部署のご案内



<ホームページ>

◇ 武蔵野市福祉公社 <https://www.fukushikoshi.jp>

◇ 武蔵野市地域包括ケア人材育成センター
<https://www.m-machigurumi.jp>

◇ ホームヘルプセンター武蔵野
<https://help-musashino.jp>

営業時間 8時30分から17時15分(すべて共通)

武蔵野市福祉公社 本部

武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

総務課	☎ 0422-23-1165
権利擁護センター	☎ 0422-27-5070
成年後見利用支援センター	☎ 0422-27-1238
生活自立支援センター(三鷹サテライト)	☎ 0422-66-2801
ケアプランセンター	☎ 0422-27-5076
ホームヘルプセンター武蔵野	☎ 0422-23-2611
地域包括ケア人材育成センター	☎ 0422-20-3741

武蔵野市立北町高齢者センター 武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

コミュニティケアサロン	☎ 0422-54-5300
子育てひろば・みずきっこ	☎ 0422-38-5150

武蔵野市立高齢者総合センター 武蔵野市緑町2-4-1

管理・社会活動センター	☎ 0422-51-1975
在宅介護・地域包括支援センター	☎ 0422-51-1974
住宅改修・福祉用具相談支援センター	☎ 0422-51-1974
デイサービスセンター	☎ 0422-51-2933

広報委員会

編集後記

広報委員に任命された福祉公社職員は担当部署の業務に加え、毎月の羅針盤作成のために、日々奔走しています。先月から、より効率的な羅針盤作成のために、全10名の委員を「編集」「割付」「原稿とりまとめ」「配布」に担当分けし、業務標準化を推進すべく試行錯誤の真っ最中!!新しい取り組みの中で作られた羅針盤を今後も応援して頂けると嬉しいです。(宮地)